【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成24年8月16日(2012.8.16)

【公開番号】特開2011-23940(P2011-23940A)
【公開日】平成23年2月3日(2011.2.3)
【年通号数】公開・登録公報2011-005
【出願番号】特願2009-166604(P2009-166604)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成24年7月4日(2012.7.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光学系のための鏡筒を備える撮像ユニットであって、
前記鏡筒の一方の端部、前記鏡筒の他方の端部、及び、前記鏡筒の胴部のうちの少なくとも２つの部分に形成された電極と、
前記電極どうしを電気的に接続する配線部と、
前記一方の端部若しくは前記他方の端部に設けられた撮像素子と
前記鏡筒に設けられた複数の機能要素と、
前記鏡筒に設けた複数の外部電極からの多重信号を変換する多重信号変換素子と、を有し、
前記配線部は、前記撮像素子及び前記複数の機能要素と、前記多重信号変換素子との間で信号を通信し、
前記多重信号変換素子は、前記鏡筒内において互いに熱的に分離して配置された、論理回路部及び駆動回路部を備えることを特徴とする撮像ユニット。
【請求項２】
前記論理回路部は、前記撮像素子が設けられた第１の基板上に設けられており、
前記駆動回路部は、前記第１の基板とは別に設けられた第２の基板上に形成されている請求項１に記載の撮像ユニット。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
上述した課題を解決し、目的を達成するために、本発明に係る撮像ユニットは、光学系のための鏡筒を備える撮像ユニットであって、鏡筒の一方の端部、鏡筒の他方の端部、及び、鏡筒の胴部のうちの少なくとも２つの部分に形成された電極と、電極どうしを電気的に接続する配線部と、一方の端部若しくは他方の端部に設けられた撮像素子と鏡筒に設けられた複数の機能要素と、鏡筒に設けた複数の外部電極からの多重信号を変換する多重信号変換素子と、を有し、配線部は、撮像素子及び複数の機能要素と、多重信号変換素子と

の間で信号を通信し、多重信号変換素子は、鏡筒内において互いに熱的に分離して配置された、論理回路部及び駆動回路部を備えることを特徴としている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明に係る撮像ユニットにおいて、論理回路部は、撮像素子が設けられた第１の基板上に設けられており、駆動回路部は、第１の基板とは別に設けられた第２の基板上に形成されていることが好ましい。